

## 敬語の用法（続き）

### 1. 過剰敬語について

- 尊敬語の使い過ぎ

×お召し上がりになられる→○（召し上がる）

×お戻りになられる→○（お戻りになる／戻られる）

×おっしゃられる→○（おっしゃる／言われる）

- 謙譲語の使い過ぎ

×拝見させていただきます →○（拝見します）

×お話させていただきます →○（お話しいたします）

### 2 謙譲語＋尊敬語

×申される

「先生が申される」と言ってしまうと、主語の先生を敬っているのか、低めているのか不明になる。よって、「先生が（おっしゃる）」とする。

参られる

いただかれる

→（参る）

→（もらえる）

ご訪問される

- 「ご～する」の謙譲語と尊敬の助動詞「れる」を一つにした、よく耳にする誤用の尊敬表現

(ご訪問なされる)

ご帰国される

ご説明いたされる

(ご帰国する)

(ご説明なされる)

**練習問題：次の各文の下線部を適切な表現に改めよ。**

1. お客様が申されましたように、書類は確かに当社に届いております。

(おっしゃいました)

2. 山田商事の鈴木様、いましたら受付までお越しく下さい。

(いらっしゃいましたら)

3. 追加のご注文の場合は、ご連絡してください。

(ご連絡)

4. 少々時間がかかりますので、そちらにお座りしてお待ちください。

(おかけになって・お座りになって)

**3. 敬意表現**

- 社会においては、文法的知識だけではわからない、話し相手との立場の相違（＝対人関係）を考えた言葉遣い・敬意表現も必要となってくる。

### 3.1 敬意のレベル

- 敬語表現は、いくつかの段階がある
- 単に「敬語は、マス形を使えばよい」というわけではない。状況に応じて、適切な表現を考える必要もある

低

高



お願いします < お願いいたします < (お願い申し上げます)

貸してくれないか < 貸していただけませんか < (お貸しく  
ませんか)

どうですか < いかがですか < (いかがでございますか)

- 一般的に、(謙譲語) よりも (尊敬語) のほうが高い敬意を示す。また、**相手や場面に**  
**乗じて敬意のレベルを変える必要がある。**

---

#### 参考文献

米田明美・藏中さやか・山上登志美 (2010) 『大学生のための日本語表現実践ノート 改訂版』. 東京：風間書房.